

ご多用の中にもかかわらず、令和3年度の学校評価アンケートご協力いただき感謝申し上げます。

学校評価アンケートは、同じ内容の項目について、生徒・保護者にそれぞれ回答をしてもらっています。それを分析することで、生徒・保護者が教育内容をどう感じているのかを把握し、学校運営上大切にしていかなければならないことの確認や、改善策を作るために活用しています。

集計結果の分析や今年度のアンケートでいただいたご意見を項目ごとに整理してみました。

生徒・保護者の皆様からの様々なご意見を受け止め、次年度の計画に生かしていきますので、今後ともご支援ご協力をお願いいたします。

1 石神井中学校の教育は教育目標に沿っている。

	とても そう思う	そう思う	あまり そう思わない	全く そう思わない		よく出来ている	概ね出来ている	改善を要する	直ちに 改善を要する	よくわからない
1年生徒	21.8	70.4	5.8	1.0	1年保護者	22.4	67.1	2.4	0.0	7.1
2年生徒	28.8	65.9	5.4	0.0	2年保護者	31.4	58.6	0.6	0.0	8.3
3年生徒	24.9	70.6	4.1	0.5	3年保護者	24.0	68.3	2.9	0.0	4.8
I組生徒	25.0	50.0	12.5	8.3	I組保護者	35.7	60.7	0.0	0.0	0.0

本校は、人権尊重の精神培いながら、国際的な視野をもち社会の変化に主体的に対応することのできる資質を養い、生涯を通して学び続けることのできる心身ともに健全で人間性豊かな生徒の育成を目指しています。これらのことを踏まえて、「明るく、健康な生徒」「正しい判断力を持ち、主体的に学び行動する生徒」「豊かな情操をもち、品位のある生徒」の育成を目指すという目標のもと、教育活動を実践しています。アンケート結果から一定の評価をいただいておりますが、目標に照らし合わせた視点での情報発信の必要があると受け止めています。

2 石神井中学校は楽しく、充実した生活ができる場である。

	とても そう思う	そう思う	あまり そう思わない	全く そう思わない		よく出来ている	概ね出来ている	改善を要する	直ちに 改善を要する	よくわからない
1年生徒	34.5	55.3	9.2	0.5	1年保護者	33.5	57.1	4.1	0.6	4.1
2年生徒	49.3	44.4	6.3	0.0	2年保護者	43.2	53.3	0.6	0.0	3.0
3年生徒	35.0	59.4	4.6	1.0	3年保護者	35.6	61.5	1.0	0.0	1.9
I組生徒	33.3	41.7	20.8	0.0	I組保護者	42.9	50.0	0.0	0.0	0.0

学年が上がるにつれて、満足度の割合が増えています。コロナウイルス感染症対策により、教育活動において様々な制限がなされていなければならないけれども、体育祭や合唱コンクール、校外学習や部活動など、できる範囲で実施できたことが満足度に寄与していると考えています。
しかし、I組では、教育活動の土台である協働的学習が制限されたこともあり、満足度が今一つの結果となっています。コロナ禍の影響を受けたともいえますが、より工夫した教育活動を実践していきます。

3 石神井中学校は生徒が互いの気持ちを考えたり伝えたりできるように促している。

	とても そう思う	そう思う	あまり そう思わない	全く そう思わない		よく出来ている	概ね出来ている	改善を要する	直ちに 改善を要する	よくわからない
1年生徒	26.2	64.1	9.2	0.0	1年保護者	14.1	61.2	3.5	0.6	20.0
2年生徒	34.2	59.0	6.8	0.0	2年保護者	25.4	55.6	1.8	1.2	15.4
3年生徒	28.9	62.9	7.1	1.0	3年保護者	22.1	66.4	1.9	0.0	9.6
I組生徒	33.3	41.7	20.8	4.2	I組保護者	39.3	53.6	0.0	0.0	3.6

今年度もコロナ感染症対策の影響を受けて、お互いの気持ちを伝えたり考えたりする行為が制限され、充実した活動につなげられなかった点があると捉えています。特に、学校公開等における保護者の参観は制限され、授業や行事等で、保護者の皆様が、このような活動に触れる機会が少なかったことが「よくわからない」の評価につながっていると考えています。
来年度は、更に知恵と工夫を働かせ、制限ある中でも満足感が得られるような取組を練り、実践が伝えられるようにしていきます。

4 石神井中学校は教育活動の内容や生徒の様子を、「たより」などで保護者に伝えている。

	とても そう思う	そう思う	あまり そう思わない	全く そう思わない		よく出来ている	概ね出来ている	改善を要する	直ちに 改善を要する	よくわからない
1年生徒	37.4	57.8	4.4	0.5	1年保護者	37.7	57.1	1.8	0.0	2.9
2年生徒	52.2	43.4	3.9	0.0	2年保護者	50.9	43.2	3.0	0.0	3.0
3年生徒	34.5	58.9	6.6	0.0	3年保護者	35.6	61.5	2.9	0.0	0.0
I組生徒	50.0	37.5	8.3	4.2	I組保護者	71.4	25.0	0.0	0.0	0.0

今年度は、学年便り、学級だより等を中心に、学校での生徒の活動の様子を概ね伝えることができたと考えています。特に学校ホームページは基本的に毎日更新され、学校生活の様子を例年以上に配信しています。
情報発信は的確に出来ていると考えています。来年度も今年度の取組を継続し、生徒・保護者の満足が高まるよう取り組んでいきます。

5 石神井中学校はわかりやすい授業をしている。

	とても そう思う	そう思う	あまり そう思わない	全く そう思わない		よく出来ている	概ね出来ている	改善を要する	直ちに 改善を要する	よくわからない
1年生徒	28.2	61.7	10.2	0.0	1年保護者	12.9	57.1	11.8	0.6	17.7
2年生徒	28.8	64.9	5.9	0.5	2年保護者	16.6	53.3	12.4	0.6	17.2
3年生徒	20.8	66.5	12.2	0.5	3年保護者	21.2	58.7	11.5	0.0	8.7
I組生徒	54.2	33.3	12.5	0.0	I組保護者	39.3	50.0	0.0	0.0	7.1

昨年度の1年生の評価はすこぶる高く、生徒が満足する授業が展開されていたと分析をしました。現2年生徒の調査結果から引き続き満足度の高い結果が得られていることから、2年生で展開されている授業は、生徒に寄り添った授業とみることが出来ます。
感染症対策のため、保護者の皆様が実際の授業に触れる機会をほとんど提供できなかったため、保護者の「わからない」の数値がとても高い結果となっていますが、三者面談等にて、状況をしっかりと確認し共有して、授業改善に反映させていきたいと考えています。

6 石神井中学校は基礎的・基本的な学力がつけられるような指導をしている。

	とても そう思う	そう思う	あまり そう思わない	全く そう思わない		よく出来ている	概ね出来ている	改善を要する	直ちに 改善を要する	よくわからない
1年生徒	32.5	64.6	2.9	0.0	1年保護者	17.1	64.7	6.5	1.2	10.6
2年生徒	40.0	56.1	3.9	0.0	2年保護者	23.7	56.8	7.7	0.6	11.2
3年生徒	31.5	61.9	6.1	0.5	3年保護者	26.0	64.4	5.8	0.0	3.9
I組生徒	37.5	50.0	12.5	0.0	I組保護者	46.4	46.4	0.0	0.0	3.6

生徒の満足度は、概ね良好で、学校が目指している基礎的・基本的な学力というものを理解し、生徒自身もその学力を身に付けられるよう努力できた結果ととらえています。基礎的・基本的な学力の明確化を図りつつ、この学力を活用したり、深化・発展させた課題にも対応できる力の育成を図っていきます。

7 石神井中学校は考える力（思考力など）がつけられるような指導をしている。

	とても そう思う	そう思う	あまり そう思わない	全く そう思わない		よく出来ている	概ね出来ている	改善を要する	直ちに 改善を要する	よくわからない
1年生徒	33.5	61.2	4.9	0.5	1年保護者	13.5	57.1	8.8	0.6	20.0
2年生徒	30.7	61.5	7.8	0.0	2年保護者	20.1	53.3	9.5	1.8	14.8
3年生徒	27.4	64.0	7.6	1.0	3年保護者	17.3	62.5	12.5	0.0	7.7
I組生徒	41.7	41.7	12.5	4.2	I組保護者	32.1	57.1	0.0	0.0	3.6

「6の設問」の分析でも触れましたが、基礎的・基本的な学力の育成に向けての指導の評価に比べ、考える力（思考力など）がつけられるような指導の評価が今一つとらえています。保護者の評価が、「わからない」を含め、改善し、活用したり、深化・発展させた課題にも対応できる力の育成を図っていきます。

8 石神井中学校は生徒が集団生活のルールを守り、規範意識をもてるように指導している。

	とても そう思う	そう思う	あまり そう思わない	全く そう思わない		よく出来ている	概ね出来ている	改善を要する	直ちに 改善を要する	よくわからない
1年生徒	39.3	53.4	6.8	0.0	1年保護者	33.5	60.0	2.9	0.0	2.9
2年生徒	41.5	55.1	2.9	0.5	2年保護者	42.0	52.7	1.8	0.6	3.0
3年生徒	29.4	66.0	4.6	0.0	3年保護者	43.3	51.9	3.9	0.0	1.0
I組生徒	45.8	50.0	4.2	0.0	I組保護者	50.0	46.4	0.0	0.0	0.0

今年度も全学年、生徒・保護者の両方において、良好な結果となっており、生徒は集団生活のためのルールや規範意識をもった生活の重要性を理解しているとみることが出来ます。規範意識の醸成は、落ち着いた学校生活を継続していく上でとても大切なポイントと考えています。生徒アンケートや生徒会活動等の状況の把握を通して、実態の把握に努め、規範意識の醸成を更に図っていきます。

9 石神井中学校は挨拶を大切に、互いに挨拶することを奨励している。

	とても そう思う	そう思う	あまり そう思わない	全く そう思わない		よく出来ている	概ね出来ている	改善を要する	直ちに 改善を要する	よくわからない
1年生徒	67.0	29.6	3.4	0.0	1年保護者	45.9	45.3	5.9	0.0	2.9
2年生徒	72.7	24.9	2.4	0.0	2年保護者	53.9	39.1	3.0	1.2	3.0
3年生徒	26.4	60.4	12.2	1.0	3年保護者	29.8	52.9	6.7	0.0	10.6
I組生徒	45.8	37.5	12.5	4.2	I組保護者	42.9	53.6	0.0	0.0	0.0

例年通り、生徒・保護者も大変に高い評価となっています。生徒たちも、本校での「あいさつ」は、他校に誇れる本校の良さと考えているようです。I組生徒の評価に「そう思わない」という評価が多少多いようですが、I組ではあいさつは、「奨励」ではなく「あいさつは、当たり前」というくらいに定着をしています。学校は、礼儀正しい気持ちの良いあいさつができることはとても大切だと考えています。今後も全教育活動を通して、心を耕す指導を行い、しっかりとあいさつのできる生徒の育成に努めていきます。

10 石神井中学校は生徒が困ったときに親身になって相談に応じている。

	とても そう思う	そう思う	あまり そう思わない	全く そう思わない		よく出来ている	概ね出来ている	改善を要する	直ちに 改善を要する	よくわからない
1年生徒	26.7	58.7	11.7	2.4	1年保護者	24.1	44.7	7.1	0.6	23.5
2年生徒	29.3	58.5	11.7	0.5	2年保護者	28.4	49.1	1.2	0.6	20.7
3年生徒	24.9	67.5	5.1	2.5	3年保護者	23.1	51.0	2.9	0.0	22.1
I組生徒	54.2	37.5	8.3	0.0	I組保護者	42.9	50.0	0.0	0.0	3.6

ほぼ9割弱の生徒が、学校において相談できる窓口が確保されており、実際に必要などきに相談が出来る状況になっています。しかし、各学年とも生徒の一定数において、学校が生徒の相談窓口になっていないという結果も出ています。困り感を抱いた生徒、相談にのってほしい生徒が、相談に来ることが出来る関係が築けるよう、より一層の生徒理解を図り、よりよい関係に努めていくとともに、相談窓口や相談機関の整備に努めていきます。

11 石神井中学校は生徒の問題のある行動に対して、適切な指導、家庭連絡をしている。

	とても そう思う	そう思う	あまり そう思わない	全く そう思わない		よく出来ている	概ね出来ている	改善を要する	直ちに 改善を要する	よくわからない
1年生徒	34.5	58.7	6.3	0.5	1年保護者	22.4	47.7	5.3	1.8	22.9
2年生徒	36.6	57.6	4.4	0.0	2年保護者	23.1	47.3	2.4	0.6	26.6
3年生徒	24.9	67.5	5.1	2.5	3年保護者	23.1	51.0	2.9	0.0	22.1
I組生徒	54.2	37.5	8.3	0.0	I組保護者	42.9	50.0	0.0	0.0	3.6

学校は問題が発生した場合、迅速な対応が重要だと考え、対応しているつもりですが、連絡がつかない場合を含め、指導や指導経過をお伝えする時間が遅くなってしまったことがあったかもしれません。また不登校の状況にある生徒に対する家庭連絡や指導に対する対応の改善のご指摘もあるように感じます。今後も保護者との連携を深め、連絡・協力体制を大切にしていきます。

12 石神井中学校は生徒の良いところは認め、いけないところは注意している。

	とても そう思う	そう思う	あまり そう思わない	全く そう思わない		よく出来ている	概ね出来ている	改善を要する	直ちに 改善を要する	よくわからない
1年生徒	38.8	54.4	6.3	0.5	1年保護者	27.1	58.8	3.5	1.2	9.4
2年生徒	39.5	53.7	5.9	0.5	2年保護者	24.9	53.3	2.4	0.6	18.9
3年生徒	30.5	60.4	7.6	1.5	3年保護者	30.8	57.7	2.9	0.0	8.7
I組生徒	58.3	37.5	4.2	0.0	I組保護者	57.1	39.3	0.0	0.0	0.0

「生徒の良いところは認め、いけないところは注意している」このことを常に意識して指導にあたっていますが、「生徒の良いところ」の情報発信が不十分のため、保護者の「よくわからない」の数値が高くなっているものと思われます。
「いけないところ」の改善を促すための注意は必要なことから、今後も継続してまいります、「生徒の良いところ」に対する評価をより積極的に行い、生徒の自尊感情を高めていけるようにしていきます。

13 石神井中学校は生徒が心身の健康を保てるように支援している。

	とても そう思う	そう思う	あまり そう思わない	全く そう思わない		よく出来ている	概ね出来ている	改善を要する	直ちに 改善を要する	よくわからない
1年生徒	35.4	52.4	11.2	1.0	1年保護者	22.4	61.8	4.1	0.6	11.2
2年生徒	37.6	54.6	7.8	0.0	2年保護者	27.8	57.4	2.4	0.6	11.8
3年生徒	26.9	65.0	6.6	1.5	3年保護者	30.8	56.7	2.9	0.0	9.6
I組生徒	41.7	29.2	29.2	0.0	I組保護者	42.9	50.0	0.0	0.0	3.6

心身の健康を保てるような支援については、具体化しにくい点もあるので、生徒アンケートでは「あまりそう思わない」の評価が多く出ているのかもしれないと分析しています。
昨年度に引き続き、感染症対策への対応や指導を展開したり、具合が悪くなった生徒への対応、けがをしてしまった生徒への対応を丁寧にしてきたつもりです。また「心の健康」に対する対応としてスクールカウンセラー等の活用を促していますが、今後はより一層、担任・学年レベルでの声かけやフォローアップの充実も図っていかねばならないと考えています。

14 石神井中学校は生徒が学校行事を通して、充実感や達成感を感じられるようにしている。

	とても そう思う	そう思う	あまり そう思わない	全く そう思わない		よく出来ている	概ね出来ている	改善を要する	直ちに 改善を要する	よくわからない
1年生徒	40.3	50.5	8.7	0.5	1年保護者	36.5	57.1	2.9	0.6	2.9
2年生徒	53.2	42.0	4.9	0.0	2年保護者	42.0	48.5	4.7	0.0	4.1
3年生徒	39.6	55.8	3.6	1.0	3年保護者	32.7	57.7	4.8	1.0	3.9
I組生徒	41.7	25.0	33.3	0.0	I組保護者	60.7	35.7	0.0	0.0	0.0

コロナウイルス感染症対策により、できる範囲という形ではありましたが、体育祭や合唱コンクール、校外学習を行うことが出来ませんでした。
しかし、I組の宿泊移動教室やスキー教室は残念ながら実施が出来ませんでした。特に楽しみにしていたこの二つが中止となったことで、I組の生徒は、充実感や達成感に対して十分な満足を得られなかったと推察しています。

15 石神井中学校は校舎・校内・教室の環境美化に努めている。

	とても そう思う	そう思う	あまり そう思わない	全く そう思わない		よく出来ている	概ね出来ている	改善を要する	直ちに 改善を要する	よくわからない
1年生徒	31.1	60.2	8.3	0.5	1年保護者	28.8	64.1	2.9	0.0	4.1
2年生徒	37.6	53.2	9.3	0.0	2年保護者	33.7	55.6	3.6	0.6	6.5
3年生徒	28.9	63.5	6.6	1.0	3年保護者	36.5	51.9	7.7	1.0	2.9
I組生徒	41.7	50.0	8.3	0.0	I組保護者	46.4	46.4	0.0	0.0	3.6

老朽化にともない施設面において様々な課題が生じていますが、状況を適宜把握し、優先順位をつけて教育委員会等と相談をしながら対応をしています。そのような環境の中でも、生徒の協力を得ながら環境の美化に努めています。
今後も生徒の教育活動に支障が起らないよう、課題の改善に取り組んでいきます。

16 石神井中学校は生徒が部活動を通して、充実感や達成感を感じられるようにしている。

	とても そう思う	そう思う	あまり そう思わない	全く そう思わない		よく出来ている	概ね出来ている	改善を要する	直ちに 改善を要する	よくわからない
1年生徒	51.0	39.8	6.8	1.9	1年保護者	41.8	46.5	7.7	1.2	2.9
2年生徒	49.3	42.4	6.3	0.5	2年保護者	39.1	45.0	6.5	0.6	8.9
3年生徒	33.5	60.9	3.6	1.5	3年保護者	39.4	51.0	2.9	0.0	6.7
I組生徒	33.3	29.2	25.0	12.5	I組保護者	25.0	50.0	0.0	0.0	21.4

まん延防止等重点措置を踏まえた教育活動を展開する中で、部活動に対する影響は今年度も少なからずあったとらえています。
しかしながら、感染防止対策をしっかりと行い、部活動が行える環境を整えたことで、昨年度よりは活動ができたと思います。
コロナ禍の中でも満足度の高い評価となったことは良かったと思っています。

17 私は石神井中学校へ通って良かったと感じている。
(私は、子どもが石神井中学校へ通って良かったと感じている。)

	とても そう思う	そう思う	あまり そう思わない	全く そう思わない		よく出来ている	概ね出来ている	改善を要する	直ちに 改善を要する	よくわからない
1年生徒	38.4	51.9	7.3	2.4	1年保護者	41.2	53.5	0.6	2.4	2.4
2年生徒	46.8	47.3	3.4	2.0	2年保護者	50.3	40.2	2.4	0.6	5.3
3年生徒	40.6	52.3	6.1	1.0	3年保護者	52.9	43.3	2.9	0.0	1.0
I組生徒	45.8	33.3	16.7	4.2	I組保護者	60.7	35.7	0.0	0.0	0.0

例年の傾向では、学年が上がるにつれて、数値が良い方向に振れていく傾向があります。
今年度はI組の生徒を除いて、9割を超える生徒・保護者から満足度が高い結果となっています。
来年度も生徒が求める学校像に迫れるよう、全職員が一丸となって取り組んでいきます。

R3年度 学校評価アンケート 改善点と今後の方向性について

学校評価アンケートは、同内容の項目について、生徒・保護者に回答してもらっています。それぞれの立場で教育内容をどう感じているのか、また、立場により受け止め方が違うところなどを見つけ、学校運営上大切にしていかなければならないことの確認や、改善策を作るために情報として活用しています。

今年度のアンケートで複数名の保護者の皆様よりいただいたご意見については、以下のように項目ごとにまとめ、現状や対応策について考えてみました。また、昨年度ご指摘いただいた回答の選択肢については、評価に関する選択肢4つ（「よくできている」「概ねできている」「改善を要する」「直ちに改善を要する」と、「よくわからない」の5つに変更しました。回答者の記名については、今年度は引き続き記名でお願いしましたが、継続して検討してまいります。

1 信頼される評価・評定について

学習の成果を評価・評定として、現状を把握し今後の課題を明らかにし継続して取り組んでいくために、通知表や面談を活用しお伝えしています。年度当初に各教科ともに年間指導評価計画を作成し、評価するべき観点、その観点の見取り方法など示しています。

2 あいさつについて

生徒会本部を中心に、本校ではあいさつを大切にしています。以前よりあいさつの声が寂しくなってきたとの評価もいただいていますので、生徒一人一人があいさつのもつ意味を理解し、誰もが楽しい学校生活を送るために取組を継続して行きます。

3 教科の指導内容、学習の進め方について

今年度から新学習指導要領が完全実施されています。学習指導要領には、知識及び技能、思考力・判断力・表現力、学びに向かう力・人間性等について、教科ごと単元ごとに内容や指導方法が示されています。今後も学習指導要領の理解を深め、「生きる力」を育むために「主体的・対話的で深い学び」を目指し授業改善に取り組んでいきます。

4 日々の教科書等学習教材の扱について

生徒がとても重いカバンを背負って登下校している状況改善のために、教室のロッカーや自席の机など活用し、荷物を安心して置いておけるように取組を進めております。今後も環境改善に努めてまいります。

5 服装について

(1) 標準服の着用について

コロナ禍により、更衣場所での密を避ける目的でジャージ登校を始めましたが、学生服の着方、TPOに合った服装や態度などを学ぶことも大変重要なことです。令和4年度よりは、基本的には標準服を着用し、特別な場合でのジャージ登校としてまいります。

(2) 服装に関する校則について

多人数での学校生活を円滑に進めていくために設けられてきた校則ですが、現在の社会規範にそぐわないケースも見られるため見直しを進めています。令和3年度には、黒タイツの着用、防寒着としてのダウンジャケットの着用、標準服（ブレザータイプ）では男女ともにスラックスを選択できるなど見直しました。今後も改善への取組を継続して行きます。

6 再登校・自習教室について

職員の会議や一斉出張により部活動への対応ができない場合に再登校としています。再登校をする場合でも、校内に残って自習教室に取り組む場合でも一番大切にすることは安心・安全だと考えています。合理的な在り方や様々なケースを想定し改善を進めていきます。

定期考査前が多いようですが、朝少し早く登校し教室で静かに学習している生徒もいます。

7 学校連絡メール・グーグルフォームについて

今年度は、コロナ感染症対応で学校連絡メールを多く活用しました。今後も保護者の皆様と学校の大切な連絡ツールとして活用していけるよう登録率100%にご協力をお願いいたします。

また、電話や生徒手帳で行っていた欠席連絡等では、令和4年度よりグーグルフォームも合わせて活用

していきます。利用方法等については別にお知らせします。

8 生徒指導について

教育目標の一つでもある、主体的に考え行動する生徒の育成に力を入れています。そのために、授業だけでなく学校生活全般において機会を大切にしています。令和3年度では、部活動部長会を定期的に行うことでリーダーの育成、課題の共通認識の機会としました。また、生徒一人一人に丁寧に接し個に応じた指導を通して生徒理解に努めています。一方、教職員の指導について要改善とのご指摘もいただいております、信頼される学校として行くために今後も改革を進めてまいります。

9 保護者の皆様・地域の皆様との連携について

保護者の皆様には、できる限り学校にお運びいただき、直に学校の様子を見ていただきたいと考えています。しかし、コロナ対応により難しい状況もあります。そのため、オンラインを活用しての説明会、情報の配信にも取り組んでおります。

地域での活動については、職場体験、地域行事や地域施設でのボランティアなど生徒が活躍できる場があれば、積極的に参加していきたいと考えています。保護者皆様には良い情報がありましたらぜひ学校にもご紹介ください。また、生徒の健全育成（特に夜の時間帯など）についても保護者の皆様、青少年育成委員会の皆様、関係諸機関と連携を密にして対応していければと思います。